

6月18日(日) 本年度第48回(通算2734回)

## ローターアクトとの対話 PART 2

担当/理事会・新世代委員会

18時30分～釧路プリンスホテル

### ■メイクアップ

6月21日 (会長幹事会) 小野寺 英夫君、佐渡 正幸君

6月9日 (釧路北RAC) 鈴木 圭介君

### ■出席報告【会員総数68名 免除7名 出席計算に用いた会員数68名】

出席者 31名 本日の出席率 46%

### ■ニコニコ献金

- ・無事モンゴルから帰りました～小野寺 英夫君、佐渡 正幸君
- ・ラス前例会 ～中嶋 嘉昭君
- ・早いもので1年経ちました ～鈴木 圭介君

### ■会長挨拶

《小野寺会長》



みなさんこんにちは。午前中にいつとき滝のような雨が降りましたが、みなさんの仕事に支障はありませんでしたでしょうか。

ロータリーの四つのテストに「みんなのためになるかどうか」とあります。このみんなというのは、会社であるとか地域であるとかという意味と、社会の一員としての周りみんなという事でもあると思います。

人と人のつながりが国と国のよりよき関係づくりに資することになり、そしてそれこそが平和のための一番の近道になると、あるロータリアンが言っておりました。国と国の立場としては引くに引けないこともあると思いますが、国民どうしの理解とつながりが国家の過ちを防いでくれる事に繋がるのではないのでしょうか。

ロータリーの中核的な価値観の多様性、高潔性、リーダーシップにはそういう意味が込められていると思います。

たとえば国内にいる韓国人、中国人の人たちにも「日本人は差別もせず心豊かな国民」であると理解し良き友人になってもらう事が、一番大事なことでないのでしょうか。

最近、色々な国でナショナリズムの高まりを国家があおり、利用している、或いは引きずられていると思われることが多々あります。こんな時代だからこそ私たちロータリアンはしっかりと世の中を見据えていきたいものだと思います。

### ■幹事報告

《佐渡幹事》



- ・5月の活動報告及び7月の例会プログラムが別海ロータリークラブより届いていますので、回覧させていただきます。
- ・釧路北ローターアクトクラブの最終例会が6月21日土曜日、次年度第一例会が7月5日土曜日に開催されますので、ご参加の程よろしくお願いたします。



多田新世代副委員長

本日は平井委員長が所用の為欠席ですので、私、多田が進行を務めさせていただきます。なにぶん不慣れなものですので、色々和多めに見ていただきながら宜しくお願いしたいと思います。

では本日のプログラム「ローターアクトとの対話例会 PART 2」ということで…昨年9月に行われた、ローターアクトとの対話例会 PART 1 の中で貴重なご指摘や宿題なるものをロータリアンの皆様に頂きました。具体的にはコーディネーター佐渡幹事様より

- ・ローターアクトの活動、目的など、もっと皆様に知って貰う必要があること
- ・ローターアクトの目的とは何か・・・

平井委員長様より

- ・やみくもに集まるだけの活動ではなく、対外的にしっかりとアピールできるものを持つ
- ・人数の拡大から、活動の充実を図ってほしい
- ・「アクトの活動はこれ」という活動を地域貢献できることを踏まえて考えて欲しい
- ・現役会員として、活動の意味を理解して欲しい。・・・など・・・

この様なお言葉を頂きました。

また今年度の小野寺会長の具体的重点目標にもあります、「ローターアクトクラブ会員増強及び活動支援」という部分に関しましてもロータリアンの皆様方のお力を頂き、アクター会員の増強やアクト例会への参加率向上、家庭集会への参加、IMへの参加などなど、多大なる様々なご協力によって今年度のローターアクトはパワーアップしました！

そんな中反省課題もはっきりと見えてまいりました。内容としましては、実働メンバーが少ないという部分です。これにより例会の参加率が平均56%という数字になっております。

まあ私の方から長々話ししても仕方ありませんので、その辺を踏まえて今年一年の振り返りを中村会長の方から報告して頂きたいと思います。

では中村会長、お願いします。

### 第2500地区のアクターと、釧路北ローターアクトクラブの現状と抱える問題点

釧路北ローターアクトクラブ 会長 中村理恵子

みなさん、こんばんは。

釧路北ローターアクトクラブ、会長の中村理恵子です。

もうすぐ年度が終わりますが、皆様に沢山のご協力をいただいたからこそ、沢山の活動ができました。

ありがとうございます。

私からは、対話例会 part1 で目標として定めさせてもらいました、2つの事柄のうち、1つ、報告をさせていただきます。

目標①として、会員数40名にしたいと、皆様にもうしあげました。

正直、言ってしまったなど自分でも思いましたし、会員からも、大丈夫？という表情をされたことも事実です。

ですが、隣の帯広ローターアクトクラブが20名で活動を開始しており、そこに負けたくない気持ち、釧路北ローターアクトクラブが、創立後4年目には39名の会員がいたことを知っていたので、それくらい会員がいれば、なんでもできるのではないかと思いました。

結果は、10名から18名と、8名の純増。40名には大きく未達でした。11名の増員、3名の減員となりました。

ですが、10名前後で活動していた年度初めから見て、確実に、さまざまな意見交換ができるようになりました。

よりよい活動をするにはどうするべきか、話し合いながら、行動することで、クラブとしての成長、会員ひとりひとりの成長となり、会員の増加を生み、例会内容の充実、奉仕活動へと、邁進できたと思います。

私の今年度の会長方針は「前進～to the one step～」社会人としての成長段階、道なかばだからこそ、一步ずつ前に進めるように、しっかりと事前準備から、本番、終わった後の振り返りまで、自然と考えられるような活動をしていきたいと、思って決めました。

私が入会してアクトというものがなんなのかわからない中、40周年記念式典、地区大会のホストなど、振り返る間もなく、沢山の行事や出来事をとにかくやり過ごすしかなかった悔しさもあります。

今なら、もっと良い内容ができたかもしれない、と思うこともありますが、それぞれの行事を振り返ると、反省点もありますが、やりきることができた、投げ出さずに全員が頑張れたなど、思いだします。沢山の経験を短期間で頑張ったからこそ、自分自身も成長できた気がします。

ここからは今年度の私達釧路北ローターアクトクラブの活動の振り返りを、写真から見ていただきたいと思います。スクリーンをご覧ください。

～映像視聴～

ご視聴いただき、ありがとうございます。

「ローターアクターとして、何ができるのか。」

「ローターアクトクラブとは、どんな位置づけで活動を行うのか。」

「18歳から30歳の限られた時間で、どれだけ自分の成長に繋がられるか。」

全員が、常に悩みながら、行動する1年となりました。

例会や奉仕活動における準備、本番、振り返りの繰り返しを通じて、社会人としての成長にも繋がったと感じます。今年度を終えても、課題は常にあると思います。

続いて、スライドを見てもらいながら、二つの目線で、現状、問題点などについて、見ていただきたいと思います。

～パワーポイント使用～

まず、問題点の前に、アクトとして考えるべき意識について、確認したいと思います。

ローターアクトの標語、「奉仕を通じての親睦」この標語をもとに、続いてローターアクトの目的があります。

「ローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだによりよい信頼関係を推進するための機会を提供するためにある。」

理解するには、入ってすぐは、私もあまり理解しきれませんでしたでしたが、私達が、18歳から30歳までの社会人として成長していく中で、親睦、奉仕活動を通じて青年男女として、積極的に活動すべき、成長すべきであると、今は理解しています。また、私たちはクラブ内の活動だけでなく、地区での活動も定期的に行っています。

組織図をご覧ください。私たちは、第3ブロックに属します。畠山優那会員は、次年度第3ブロック代理です。前年度は、第3ブロック代理として、小甲薫会員が地区役員として活動していました。

また、次年度においては、畠山優那会員は、次年度第3ブロック代理と地区代表ノミネートを兼任いたします。

続いて、地区行事の内容についてお話しさせていただきます。

まず、第2500地区としての活動が年3回、第3ブロックとしての活動が年3回、他にも、年1度の集まりが3つあります。第2500地区と第2510地区合同で行う北海道ローターアクト交流会、アジアゾーン1としての会議が、全国ローターアクト研修会も行われています。次年度は福島県です。

地区としての活動、クラブとしての活動を1年間、行っておりますが、クラブ単位でも、地区単位でも抱える問題点は同じです。続いて、問題点についてお話しさせていただきます。

現状と問題点の1番は、常にお話をさせていただいておりますが、会員の減少という問題。

こちらは、1989年から今年度期初までの第2500地区のアクターの人数の推移です。

1900年代までは、少なくとも200人以上、多い時は270人と多い時期がありました。

グラフで見ていただいでわかる通り、今年度の初めの、第 2500 地区のアクターは 116 名です。

最高人数の 1994-1995 年度の 270 人のころの 42% の会員しかいないのが現状です。

なぜこんなにも減少しているのか、原因として考えられるものを、2 つ、お話しします。

1 つ目の原因、「会員の高齢化」が進んでいます。

今年度の 116 名の会員のうち、卒業生は 18 名おりました。そして、各クラブの会員数もみていただきたいのですが、平均年齢が 28 歳、29 歳となっているクラブが多くあります。これが現状です。

理由としては、アクターとして企業からの紹介をいただく際、入社後すぐには無理かなという認識が出てきていること、4 ～ 5 年働いてから、社会人として少し成長してから、アクターとして活動させてるのにはよいのかな、という部分があるのかもしれない。

第 2500 地区では、10 年アクターとして活動した会員は表彰されることになっていますが、

OG の小林美穂さんが 10 年弱、在籍している以外に、他のクラブでも 10 年以上の表彰を受ける会員がほぼゼロに近づいています。

続いて、「企業会員の比率の減少」という問題。

これは一概に、一般会員が悪いという資料ではありませんが、企業会員として、成長してこい、次世代のリーダー的存在として、活動、活躍を期待したいという関心を、もっと持っていただけたら、会員はもっと増えるのではないのでしょうか。

また、私達アクターとして活動をする中で、関心を持っていただけるよう、積極的な活動が減っていることも、原因だとも思います。

例えば、北見は全員が企業会員です。逆に根室は、企業会員が 1 名、その会員も今年度卒業します。

一般会員だけではありますが、根室は他クラブから見ても精力的に、市とも協力しながら活動を行っています。

企業会員の比率が下がっていることがすべての原因ではないですが、企業会員が少しでも増えることで、会員増、増強につながっていくのではないかと、思います。

ここで、釧路北ローターアクトクラブの会員数がどう変化しているのか、ご確認いただきたいとおもいます。

1971 年に 17 名でスタートした私達のクラブですが、4 年目の 1974 年には 39 名、すべて企業会員でした。

これだけの人数がいれば、存在も認識してもらいながら、沢山の活動を、さまざまな目線でできるのだろうなと感じました。

会員が 10 名前頃の頃、入会し、全員がさまざまな事柄を兼任しながら、活動していた気がします。

現在、ロータリアンの皆様から沢山のご尽力をいただき、18 名で活動させていただいています。

10 名から 18 名になるだけでも、会員一人一人の役割分担ができるようになり、負担が減ることで様々な目線で活動内容について、考えていけるようになってきました。

本当に、ありがとうございます。

続いて、今年度の月単位での会員の増員、減員の推移です。

目標 40 名には至りませんでした。先日、5 月 26 日に行われた第 2500 地区ローターアクト地区大会では、

増員 11 名で地区内クラブ 1 位、純増も 8 位で地区内クラブ 1 位の表彰をいただきました。

しかし、将来の卒業も踏まえ、もっとよりよい活動を釧路で行うためには、次年度以降も会員純増が課題だなど、感じます。

続いて、会員増から見て、アクタとしての目線などから見た、問題点 2 についてお話しさせていただきます。

現状と問題点の 2 番目としては、実働会員の増強、増員が課題になっていることです。

10 名の会員数から 18 名になったことで、会員それぞれの負担を軽減はできていますが、実働会員が固定化されてきてしまっている現状です。

参加しなければ、アクターとしての活動の意味も、なかなか理解しにくいと、思います。ですが、例会内容、時間、場所等により、なかなか参加できない会員もおります。社会人としても成長中の中で、業務とアクターとしての活動の両立をどう行うか、この問題が解決すれば、なお、会員増強につながると思います。

次年度は 5 名の卒業が決まっております。最低 5 名の増員、毎年 10 名の増員ができること、現会員、新入会員全員がそれぞれ成長しながら、増強していくこと。常に必要なことだと、感じます。

今年度の例会出席率は、56%です。前半は出席率が60%を超えている例会が多く、後半、45%以下の出席率の例会が増えました。もっと行動できれば、避けられたことだと、今年度会長を務め、反省点です。

最後に、私からは、ローターアクトの目標について、触れたいと思います。

「ローターアクトの目標」

ローターアクトの目標は次の通りである。

1. 専門技術および指導能力を開発すること。
2. 他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。
3. 若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。
4. 提唱ロータリー・クラブと協力して活動にあたる機会を提供すること。
5. ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。

この目標はどれも、社会人として、当たり前のことかもしれませんが、沢山の活動、親睦や話し合いを通じて、得ていくものだと、思います。

正直、頑張り続けることに、つらくなることもあります。他の会員も、多少なりと感じているかもしれません。

それでも、常に考え、頑張り続ける力が、アクターとして活動することでさらに上を目指して、それぞれの会員の成長につながるのだらうと、思います。

そしてその中で、私達、釧路北ローターアクトクラブを指導、見続けてくださるロータリアンの皆様は、とても大きな存在です。これからも、沢山、過干渉なくらい、見ていただければ、嬉しいです。

また、私達も、皆様からみてわかりやすく、必要だと思われるような活動、行動を、続けていきたいと思っています。

これで、私からの活動報告をおわります。

## 次年度抱負と展望

釧路北ローターアクトクラブ 次年度会長 菊池吉史

皆様こんばんは。次年度会長を務めさせていただきます菊池吉史と申します。

さて、今年度の中村理恵子年度は10人でスタートした我々釧路北ローターアクトクラブですが、ロータリークラブ様の多大なご協力のもと最終的には18人まで人数が増えて活動してまいりました。まずもって御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

釧路北ローターアクトクラブは奉仕を通じての親睦という標語のもと40年を超える長い歴史を持つ組織ですが、次年度のクラブテーマとして、今までのアクト卒業生の先輩方が築き上げて下さった基礎基盤を重んじつつ、現会員それぞれが目標を高く持ち、切磋琢磨しながら新たなる挑戦をしていきたいという考えから、『温故知新』というテーマを掲げました。

ローターアクトクラブ定款の内容の中に、ローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的な取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだによりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにある、と書かれています。

その目的に従い、私たちアクトクラブは例会において、今年度は生活保護の問題を取り上げたり、釧路が生んだ建築家である毛綱毅曠氏について学んだりなど、会員オリジナルの手作りの例会を行い、アクトに入っていなければ学べなかったことを多いに学ぶことが出来ました。また奉仕活動の一環として例会でベンチを作って施設に寄付をしたり、子ども未来塾という日曜日に有志の方々が行っていることもと触れ合うボランティア活動のお手伝いを行って勉強やスポーツなどこどもに教えたりと、自分たちの成長に繋がることはもちろん、地域の人々のニーズを考えた上で貢献できるような新たな奉仕活動を積極的に行って参りました。

このように新たな活動が出来てきているのも、アクトの会員が徐々に増え、意見交換が活発になり、活動できるアクティブな会員が増えたことに大きな要因があると考えています。

もっともっと会員が増えれば、たとえば釧路市と協力してアクト主催の祭りのような開催出来たり、より貢献度の高い奉仕活動ができるのではないかと思います。

そのためにも会員を増やすために、様々な活動を行っております。今年度の活動で一例をあげますと、バレーボール例会というバレーを楽しむ例会では会員ひとりにつき友人を一人以上連れてきてもらい、アクトに興味をもってもらって会員になってもらうように促したりなど、工夫をしながら会員増強活動を行っております。次年度は今までなかったアクトのOBOGともより良い関係性を作れるよう働きかけ、会社の後輩などを新たにアクト会員として紹介してもらうなど、新たなる交流会員増強活動をつづけていこうと思っています。

会員増強のためにはクラブの知名度を上げることが必須ですが、わたしたちアクトクラブは常に知名度をアップさせるためにはどうすればいいのか、ということをもいつも考えながら計画を練っております。

今年度はどのような活動していけば知名度をアップさせられるのか、ということが、少しずつわかってきたという実感があります。

一例をあげますと、東日本大震災の復興支援の一環として毎年チャリティーフリーマーケットを行っており、今回で開催4回目を迎えましたが、このチャリティーフリーマーケットを行う上で、事前の宣伝活動に各会員が力を合わせてあらゆるメディアを利用し、今まで以上に行動を起こしました。

具体的に申し上げますと、事前にフリーマーケットの告知ポスターを作成して、それぞれの会員の職場はもちろんのこと、関わりある仕事先、お店にはらせていただいたり、釧路市内の高校や、公共施設にお願いし貼らせて頂いたりしました。

また、釧路新聞、北海道新聞にも宣伝の記事を載せて頂いたり、週刊 fit にもホットピックスという欄に無料で特別に掲載していただき、新聞をとっていない家庭の方々にも告知出来ました。極めつけには、FM くしろにも私を含め会員3名で番組に出演させていただき、緊張のあまり嘸みながらも、フリーマーケットの告知はもちろんのこと、アクトがどのような活動を日々行っているのかも合わせて宣伝して参りました。

そのような努力の甲斐があり、前年度のフリーマーケットの倍以上の売り上げを記録することが出来、後日、釧路新聞、北海道新聞にもその記事を載せてもらいました。

次年度においても様々な活動をしていく中で、その活動内容の告知にあわせて、積極的にアクトクラブとはどのような活動をしている団体なのかを多くの人々に伝えていくことができると考えております。そして、知名度をアップさせたいと思っております。

私たちアクトクラブは、月2回の例会のほかに先ほど申し上げたチャリティーフリーマーケットをはじめ、河川敷の清掃、特別擁護老人ホームきんれんかの里での奉仕活動などが年間予定にありますが、私が会長を務めさせて頂く次年度におきましては、より社会的ニーズに答えるような奉仕活動を行いながら知名度を上げることが出来ればと考えております。

具体的に考えていた案としましては、『若者と大人の夢の語り場』と題しまして、就職を控えた高校生や大学生と将来のことや今抱えている社会への不満、希望などを私たちアクト会員やご協力いただけるロータリアンの皆様と意見交換し、参加してくれた高校生や大学生が将来なにを目指すべきなのか、将来のために今なにをすべきのかなど、自分自身の将来について考えてもらう将来の指針となる交流会、言い換えれば座談会のような企画ができればと考えました。

この座談会をきっかけに、人口減少に歯止めがかからない釧路市において、若者が釧路から流出するのを防ぐために、この企画において多くの就職を控えた高校生や大学生の参加者を募り、釧路で働く大人と話すことによって釧路で働きたいと考えてもらえれば1番良い結果なのではないかと思い、企画しました。

次年度の秋頃の週末にこの企画を実現させようと考えておりましたが、週末に学生を拘束するのは安全上の理由などからなかなか難しいとのご意見をいただき、また、学生を集めるのはなかなか難しいという根本的な課題もあります。

そこで、次年度はまずインターアクトクラブとして活動している武修館高校、そして明輝高校の生徒と交流を持ち、ゆくゆく

くは企画した座談会を行えるような基盤作りをしていくのはどうか、という意見が持ち上がり、只今インターアクトクラブと接触を図ろうとしている段階です。

インターアクトクラブのメンバーに私たちアクトクラブの例会をはじめ参加可能な事業には参加してもらい、インターアクトクラブの会員の活動に刺激を与えられれば教育的な奉仕活動になるのではないかという考えです。私たちアクトクラブも彼らから様々なことを学ばせてもらい、共に成長しながら有意義な奉仕活動ができればと考えております。

あわよくば、インターアクトの会員がいずれ釧路北ローターアクトメンバーに入ってくれば、という青写真も描いております。

冒頭にも申し上げましたが、我々アクトクラブは今年度10名でスタートし、只今18名で活動しておりますが、次年度が終了する段階で5名の卒業生を輩出する予定です。

今年度はアクトの2500地区、いわば東北海道のアクトクラブのなかで、会員増強11名で第1位、会員純増数8名で第1位、最優秀例会賞受賞と、おかげさまで持ちまして3冠を達成しました。しかし、入ってくれる会員がいる一方、卒業してしまう会員も多くいるため、毎年会員増強に多大な尽力をしなければいけないことには変わりありません。

そのために、今まで以上に多くの方々に、アクトを知ってもらえるような活動を行っていく必要があると考え、会員一同そのためのアイデアを日々考えながら活動しております。

また、新たな会員が入りやすい環境を整えるため、予算を見直して今まで企業会員の会費が21000円だったところを、次年度から一般会員と同じ12000円にさせて頂きました。どなたかアクトに入会して下さる方をご紹介いただければ幸いです。

ロータリアンの皆様から多大な助成をいただき活動している私たちでございますが、次年度は月2回の例会もさらにパワーアップを図って行っていく意気込みで会員一同みなさまの例会のご参加をお待ち申し上げます。来月の22日に予定しております例会では釧路市長の蝦名市長をお招きして釧路市の予算やこれからの展望についてお話を頂く予定ですので、多くロータリアンの皆様のご参加を重ねてお願い申し上げます。

最後になりましたが、アクトは今最大のチャンスを迎えている時期なのではないかと思っています。人数も増えてきて、今まで行ってきた奉仕活動をより良いものにし、そして新たな奉仕活動をやっつけよう！という熱い志をもった会員が大変増えてきています。

そして、なにより私たちアクトをとっても力強く応援してくださっているロータリアンの皆様の愛情、そして期待感をとても感じています。次年度におきましては以前より、よりロータリーの皆様との関係を密にさせて頂きたいと会員一同考えております。そのために、

まず皆様には次年度会長のわたしのことは菊池ではなく、ふみ、と呼んでいただければうれしいです。

密な関係性を持たせて頂く中で、今まで以上に期待し、間違えていることは間違えていると叱ってください。

私たちローターアクトクラブは次年度新たなチャレンジを続け、いつかロータリークラブの皆様全員がわたしたちアクトクラブを提唱していることを誇りに思ってもらえるようなクラブになればとおもいます。そのために次年度は大変重要な1年になります。

どうぞ次年度もよろしくお願いいたします。

以上です。どうもありがとうございました。



～まとめ～



多田新世代副委員長

先ずは、今回で2回目となりますアクトとの対話例会ですが、この様にプログラムに盛り込んで頂き、またアクトの活動力や精神的な大きな支えとなってくださった事に新世代委員を代表しまして本クラブの皆様へ心より感謝申し上げます。

次年度会長の菊池君からもあった通り、様々な活動を熱心に行っております。そんな中、先日平井委員長とも話しをしていた部分で、来年度以降にはなりません

が  
チャリティーフリーマーケットを 委員長の会社で毎年行っている24時間テレビのタイミングにタイアップしてみてもどうか？という話も出ております。もっとアクトの活動が世間に露出して行く為にも、一つとしてはありますが、こういった機会を多く作っていくのも我々の使命だと痛感させられた一年になりました。

また、何度も申し上げていますが

沢山の課題がある中、やはり一番に来る課題は会員増強でございます。次年度からは、企業会員の会費も12,000円と下がりましたし、毎年卒業という形で会員が減っていく部分を考えますと、やはり本クラブをはじめ、多くのロータリアンの皆様方のご協力が必要になってきています。

次年度の活動計画書はまだ出てはいませんが、先日お伺いした中に次年度萩原会長の重点目標の中にも、「ローターアクト事業及びライラセミナーに協力」とありました！

小野寺年度で今年咲いた花に 来年度は実をつける という意味でも手入れをし水をやり肥料をやるように

アクトを見守り、手を差し伸べ、一緒に伸ばしていく という事を

改めて皆様方にはご協力ご尽力をお願いいたしまして

この対話例会 PART 2 を締めさせて頂きたいと思っております。  
本日は有難う御座いました。